

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34.47128	施設ID
鳥井橋 (フリガナ) トリイハシ	田平線	津和野町高峰		経度	131.74309	34.47128,131.74309
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
津和野町		有	一般道	指定無し	有	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
III

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1971	40	4.6	上部構造 125-①鋼橋(ボルト又は溶接 継手)_H形鋼(非合成) 下部構造 11-重力式橋台 基礎構造 0-直接基礎

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日	2025.07.29	定期点検者	株式会社ウエスコ 佐々木 友也				
	想定する状況							
	活荷重	地震	豪雨・出水	その他				
橋(全体として)	C	C	A	( )				
上部構造	C	写真番号 1~4	A	写真番号 1~4	( )	写真番号		
下部構造	B	写真番号 6	A	写真番号 5	A	写真番号 6	( )	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	C	写真番号 7	A	写真番号 7	( )	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	( )	写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 8~11	A	写真番号 8~11	-	写真番号	( )	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)



状況写真（様式 1 に対応する状態の記録）

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	34.47128,131.74309	定期点検実施年月日	2025.07.29	定期点検者	株式会社ウエスコ	佐々木 友也
------	--------------------	-----------	------------	-------	----------	--------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	C	想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	2	部材番号	0201
備考	主桁下フランジの腐食減圧				



写真番号	2	径間	1	部材番号	0101
備考	横桁の防食機能の劣化				

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	2	部材番号	0203
備考	床版ひびわれ				



写真番号	4	径間	2	部材番号	0202
備考	床版の鉄筋露出				

状況写真（様式 1 に対応する状態の記録）

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	34.47128,131.74309	定期点検実施年月日	2025.07.29	定期点検者	株式会社ウエスコ	佐々木 友也
------	--------------------	-----------	------------	-------	----------	--------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2.地震	構成要素の状態	B	想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	B



写真番号	5	径間	1	部材番号	0101
備考	A1橋台のひびわれ、漏水				



写真番号	6	径間	1	部材番号	0102
備考	P1橋脚の鉄筋露出、ひびわれ、漏水				

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他（伸縮装置）	
想定する状況	2.地震	構成要素の状態	C	想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	B



写真番号	7	径間	2	部材番号	0201
備考	支承の腐食				



写真番号	8	径間	1	部材番号	0102
備考	P1伸縮装置の段差				

状況写真（様式 1 に対応する状態の記録）

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	34.47128,131.74309	定期点検実施年月日	2025.07.29	定期点検者	株式会社ウエスコ 佐々木 友也
------	--------------------	-----------	------------	-------	-----------------

構成要素		構成要素		構成要素		構成要素	
想定する状況		想定する状況		想定する状況		想定する状況	
1.活荷重		1.活荷重		2.地震		2.地震	
構成要素の状態		構成要素の状態		構成要素の状態		構成要素の状態	
B		B		B		B	



写真番号	9	径間	1	部材番号	0102
------	---	----	---	------	------

備考 P1伸縮装置の段差



写真番号	10	径間	1	部材番号	0102
------	----	----	---	------	------

備考 P1伸縮装置の遊間異常

構成要素		構成要素		構成要素		構成要素	
想定する状況		想定する状況		想定する状況		想定する状況	
1.活荷重		1.活荷重					
構成要素の状態		構成要素の状態		構成要素の状態		構成要素の状態	
A		A					



写真番号	11	径間	2	部材番号	0102
------	----	----	---	------	------

備考 A2伸縮装置の地覆遊間の目地材無し

写真番号	12	径間		部材番号	
------	----	----	--	------	--

備考

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	34.47128,131.74309	定期点検実施年月日	2025.07.29	定期点検者	株式会社ウエスコ 佐々木 友也	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	有	—	無	近接目視	
下部構造	—	無	無	—	無	無	//	
上下部接続部	無	—	—	有	—	無	//	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—		
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	//	

所見	<p><b>【上部構造】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主桁、横桁は経年劣化や伸縮装置からの漏水により広範囲に腐食、防食機能の劣化が見られる。【健全度Ⅲ】</li> <li>・床版は橋軸直角方向を主とする乾燥収縮ひびわれや部分的な漏水、鉄筋露出が多数見られる。【健全度Ⅱ】</li> </ul> <p><b>【下部構造】</b>・A1橋台、P1橋脚は伸縮装置からの漏水、部分的なひびわれや鉄筋露出、遊離石灰が点在している。【健全度Ⅱ】</p> <p><b>【上下部接続部】</b>・支承は著しい腐食が見られ、P1橋脚側支承の腐食と伸縮装置の段差(約15mm)は関係性があると推定される。【健全度Ⅲ】</p> <p><b>【その他(伸縮装置)】</b>・伸縮装置からの漏水は、上部構造、支承の変状の進行を促進させる。また、P1側では 遊間異常が見られ、主桁と主桁の接触(主桁に損傷無し)や伸縮装置の段差(約15mm)が発生している。【健全度Ⅱ】</p> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水管先端に欠損が見られる。【健全度Ⅱ】</li> <li>・高欄に腐食、破断、防食機能の劣化が見られる。【健全度Ⅱ】</li> <li>・コンクリート舗装に経年劣化が見られる。【健全度Ⅰ】</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>主桁や支承の腐食は、耐荷性能の低下が懸念されるため、早期に措置を講ずべき状態【健全度Ⅲ】である。</p>
----	--

定期点検調書（その1） 橋梁諸元

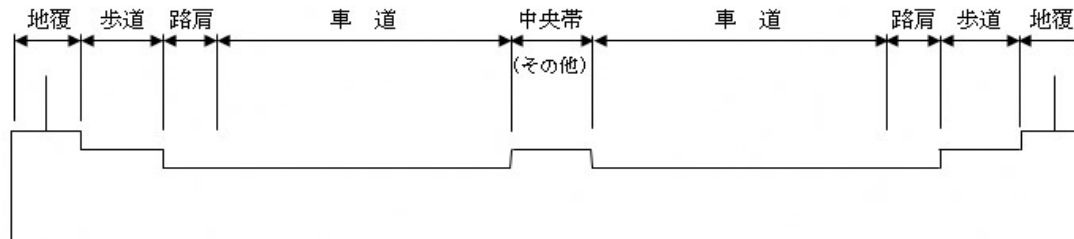
点検日: 2025/07/29

橋梁番号	Q76-AB-912393	径間数	2	事務所名	津和野町	点検者	株式会社ウエスコ	
フリガナ	トリアン			所在地	津和野町高峰	責任者	佐々木 友也	直営・委託の別
橋梁名	鳥井橋					路線名	田平線	
点検車両等規格				点検新技術名称			点検新技術番号	

橋長	40	下部工形式	A1	重力式橋台	備考 (補修履歴等)
橋種	鋼橋		A2	重力式橋台	
上部工形式	桁橋 H型鋼	橋脚	T型橋脚 (RC)		
床版材料	コンクリート系	基礎形式	直接基礎		
			出典:		

※基礎型式については、その出典(橋梁調書・台帳、設計図書、推定等)を記入のこと

架設年月日	S47.01.01	活荷重・等級	14		適用示方書		
交通条件	調査年	大型車交通量(平日12時間)					
	交通量(平日12時間)	荷重制限					
幅員構成	車道	歩道	路肩	地覆	その他	合計	
幅員	3.5		0.5	0.6		4.6	
面積	140		20	24		184	
海岸からの距離	500m超	緊急輸送路の指定	指定無し		優先確保ルートの指定		
粗骨材 (産地・岩石種類)	上部工	下部工	塗装仕様		下塗り	中塗り	上塗り
交差条件	津和野川		第3者被害予防				

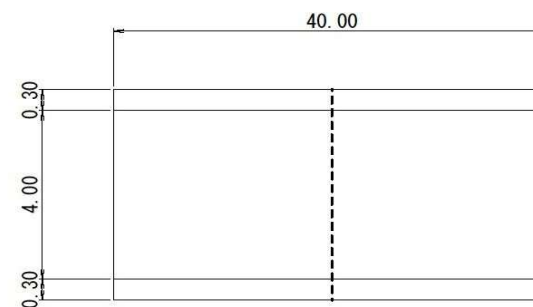


橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ 橋梁名	トイハシ 鳥井橋	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
----------	-------------------	-------------	-------------	-----	--------	-----	-----	------	------

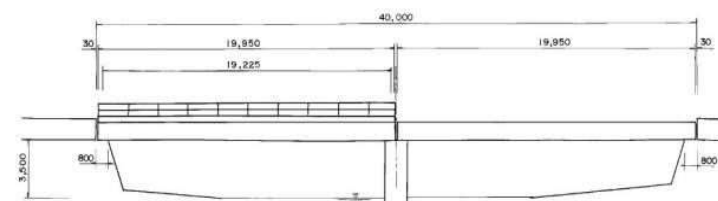
位置図



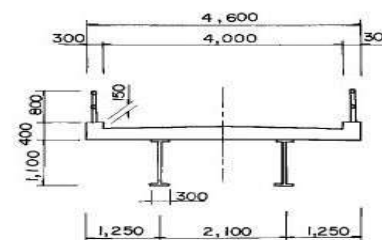
平面図



側面図



断面図



出典： 前回（2018年）定期点検調書

※橋梁一般図の出典先（橋梁調書・台帳、設計図書、簡易作図等）を記入のこと。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ 橋梁名	トイハツ 鳥井橋	径間数	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
----------	-------------------	-------------	-------------	-----	---	-----	--------	-----	-----	------	------

現  
地  
状  
況  
写  
真

起点→終点



終点→起点



上流→下流



下流→上流



橋梁番号	Q76-AB-912393	フリガナ	トリアン	径間番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

### 鳥井 橋 1 径間 損傷図及び写真位置

桁下（橋面からの透視図でスケッチする）

橋面（舗装面をスケッチする）

チェック欄

上部工下面	<input checked="" type="checkbox"/> 床版
	<input checked="" type="checkbox"/> 主桁
	<input checked="" type="checkbox"/> 横桁
橋面	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装
	<input checked="" type="checkbox"/> 排水施設
	<input checked="" type="checkbox"/> 高欄
橋台（起点側）	<input checked="" type="checkbox"/> 地覆
	<input checked="" type="checkbox"/> 伸縮装置
橋脚（P1）	<input checked="" type="checkbox"/> 支保
	<input checked="" type="checkbox"/> 親柱
	<input checked="" type="checkbox"/> 伸縮装置
	<input checked="" type="checkbox"/> 変形

点検年月日  
令和7年 7月29日

点検者  
株式会社ウエスコ  
佐々木 友也

損傷の種類（凡例）

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水			
鉄筋露出		その他			

・凡例に従い損傷をスケッチする。  
・代表的な損傷箇所の写真を撮影し、スケッチ図に「損傷の種類」と「写真番号」を記入する。

橋台正面（A1）

22 全景

P1 橋脚（A1面）

29 全景

P1 橋脚（A2面）

36 全景

コメント欄

- 主桁、横桁は広範囲で腐食、防食機能劣化が見られる。
- 床版は橋軸直角方向を主とするひびわれや鉄筋露出が多数見られる。
- A1橋台、P1橋脚は漏水、ひびわれ、鉄筋露出、うき、遊離石灰が見られる。
- 支保は全体的な腐食が見られる。
- 排水管先端に欠損が見られる。
- 伸縮装置からの漏水は、上、下部構造、支保の変状の進行を促進させる。また、P1側では遊間異常が見られ、主桁と主桁の接触（主桁に損傷無し）や伸縮装置の段差（約15mm）が発生している。
- 高欄に腐食、破断、防食機能の劣化が見られる。
- コンクリート舗装に摩耗が見られる。

前回点検からの進展  進展あり  進展なし

健全度判定

I	II
III	IV

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置図等がわかるように記載)
上部構造			
主桁	II	腐食	①①
横桁	II	防食機能の劣化	②②
床版	I		
下部構造			
A1橋台	II	ひびわれ、漏水	③③
P1橋脚	II	ひびわれ、鉄筋露出、うき	④④~⑤⑤
支保部	II	腐食	⑥⑥
その他			
排水施設	II	欠損	⑦⑦
伸縮装置	II	漏水、遊間異常、段差	⑧⑧~⑨⑨
高欄・地覆	II	破断	⑩⑩~⑪⑪
路面	I		

判定区分	変状の種類	
床版	I	
主桁	II	腐食
横桁	II	防食機能の劣化
橋台・橋脚	II	ひびわれ、漏水、鉄筋露出、うき
支保	II	腐食
排水施設	II	欠損
伸縮装置	II	漏水、遊間異常、段差
高欄・地覆	II	破断
路面	I	

青 前回点検時損傷の補修済み  
 黒 前回点検時からの損傷  
 赤 新規損傷または前回点検時から進行した損傷

橋梁番号	Q76-AB-912393	フリガナ	トリアン	径間番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

### 鳥井 橋 2 径間 損傷図及び写真位置

桁下（橋面からの透視図でスケッチする）

橋面（舗装面をスケッチする）

点検年月日  
令和7年 7月29日

点検者  
株式会社ウエスコ  
佐々木 友也

上部工下面	<input checked="" type="checkbox"/> 床版
	<input checked="" type="checkbox"/> 主桁
	<input checked="" type="checkbox"/> 横桁
	<input checked="" type="checkbox"/> 橋脚
橋面	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装
	<input checked="" type="checkbox"/> 附属物
	<input checked="" type="checkbox"/> 排水施設
	<input checked="" type="checkbox"/> 地覆
橋台（終点側）	<input checked="" type="checkbox"/> 橋座
	<input checked="" type="checkbox"/> 支承
	<input checked="" type="checkbox"/> 壁面

橋台正面（A2）

コメント欄

- 主桁、横桁は広範囲で腐食、防食機能劣化が見られる。
- 床版は橋軸直角方向を主とするひびわれ、漏水、鉄筋露出が多数見られる。
- A2橋台は伸縮装置からの漏水、コールドジョイントが見られる。
- 支承は著しい腐食が見られる。伸縮装置の段差（約15mm）は関係性があると推定される。
- 排水管先端に欠損が見られる。
- 伸縮装置からの漏水は、上部構造、支承の変状の進行を促進させる。
- 高欄に腐食、防食機能の劣化が見られる。
- コンクリート舗装に摩耗が見られる。

前回点検からの進展  進展あり  進展なし

I	II
III	IV

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水			
鉄筋露出		その他			





・凡例に従い損傷をスケッチする。  
・代表的な損傷箇所の写真撮影し、スケッチ図に「損傷の種類」と「写真番号」を記入する。

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置図等がわかるように記載)
上部構造	主桁	III 腐食	⑧⑨-⑪
	横桁	II 防食機能の劣化	⑫-⑬
	床版	II ひびわれ、鉄筋露出	⑭-⑯
下部構造	A2橋台	II 漏水	⑰
支承部	鋼製支承	III 腐食	⑱-⑲
その他	排水施設	II 欠損	⑳
	伸縮装置	II 漏水	㉑
	高欄・地覆	I	
	路面	I	

判定区分	変状の種類	
床版	II	ひびわれ、鉄筋露出
主桁	III	腐食
横桁	II	防食機能の劣化
橋台・橋脚	II	漏水
支承	III	腐食
排水施設	II	欠損
伸縮装置	II	漏水
高欄・地覆	I	
路面	I	

青 前回点検時損傷の補修済み  
 黒 前回点検時からの損傷  
 赤 新規損傷または前回点検時から進行した損傷

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号		所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	1		写真番号	2	
部材名	床版		部材名	床版	
部材番号	0201		部材番号	0202	
損傷種類			損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出	
コメント※必記 状況			コメント※必記	部分的鉄筋露出を伴うひびわれ(w=0.3mm) (0.4m × 0.1m)	
写真番号	3		写真番号	4	
部材名	床版		部材名	床版	
部材番号	0204		部材番号	0203	
損傷種類	ひびわれ		損傷種類	ひびわれ	
コメント※必記	多数点在する橋軸直角方向ひびわれ (w=0.3mm)		コメント※必記	ひびわれ(w=0.5mm以下) (0.05m × 0.05m)	

※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	5
部材名	床版
部材番号	0203
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号4の近景 (w=0.5mm)



写真番号	6
部材名	床版
部材番号	0101
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	張出し部の橋軸直角方向 ひびわれ (w=0.3mm L=0.8m)



写真番号	7
部材名	床版
部材番号	0201
損傷種類	鉄筋露出 うき
コメント※必記	[新規損傷]起点側端部の 部分的な鉄筋露出(腐食) とうき(0.7m × 0.2m以下)



写真番号	8
部材名	床版
部材番号	0201
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号7の近景



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	9
部材名	床版
部材番号	0201
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号7の防錆処理後



写真番号	10
部材名	床版
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	張出し部に点在する鉄筋露出(腐食)(0.2m × 0.3m) (0.1m × 0.1m)



写真番号	11
部材名	床版
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号10の防錆処理後



写真番号	12
部材名	床版
部材番号	0301
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	張出し部に多数点在する鉄筋露出(腐食) (0.2m × 1.3m)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	13
部材名	床版
部材番号	0301
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号12の防錆処理後



写真番号	14
部材名	床版
部材番号	0301
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	張出し部に鉄筋露出 (0.2m×0.2m) 防錆処理済



写真番号	15
部材名	主桁
部材番号	0204
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	下フランジ付近で顕著化する防食機能劣化(発錆)



写真番号	16
部材名	主桁
部材番号	0104
損傷種類	腐食
コメント※必記	桁端部、下フランジ付近の部分的な腐食(減肉:計測不可)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	17
部材名	主桁
部材番号	0204
損傷種類	腐食
コメント※必記	桁端部、下フランジ付近の部分的な腐食(減肉:計測不可)



写真番号	18
部材名	主桁
部材番号	0203
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	添接部の下フランジ付近で顕著化する防食機能劣化(発錆)



写真番号	19
部材名	主桁
部材番号	0204
損傷種類	
コメント※必記	F11Tボルト使用



写真番号	20
部材名	横桁
部材番号	0101
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	広範囲に点在する防食機能劣化(発錆)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	21
部材名	対傾構
部材番号	0103
損傷種類	防食機能 の劣化
コメント※必記	広範囲に点在する軽微な 防食機能劣化(発錆)



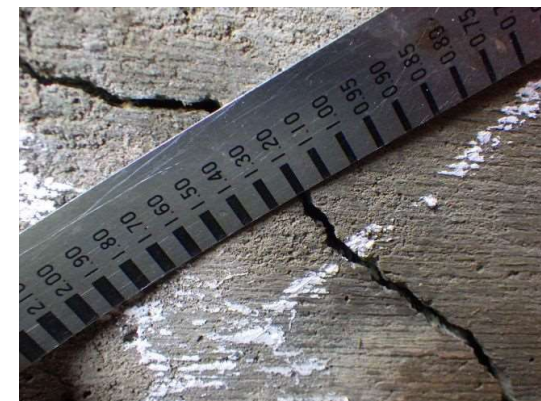
写真番号	22
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	ひびわれ、鉄筋露出、漏 水、遊離石灰あり



写真番号	23
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	[進行あり]胸壁の漏水箇 所に見られるひびわれ (w=1.2mm L=1.1m以下)



写真番号	24
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号23の近景 (w=1.2mm)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	25
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	胸壁の漏水箇所にある鉄筋露出(腐食)



写真番号	26
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号25の近景



写真番号	27
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号25の防錆処理後



写真番号	28
部材名	A1橋台
部材番号	0101
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	[新規損傷] 壁の漏水箇所 に遊離石灰を伴うひびわれ (w=0.1mm L=0.6m)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	29
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	A1面、ひびわれ、鉄筋露出、漏水、遊離石灰あり



写真番号	30
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出
コメント※必記	A1面張出し部にひびわれ、鉄筋露出(w=0.35mm以下)(0.2m×0.3m以下)



写真番号	31
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号30の近景(w=0.35mm)



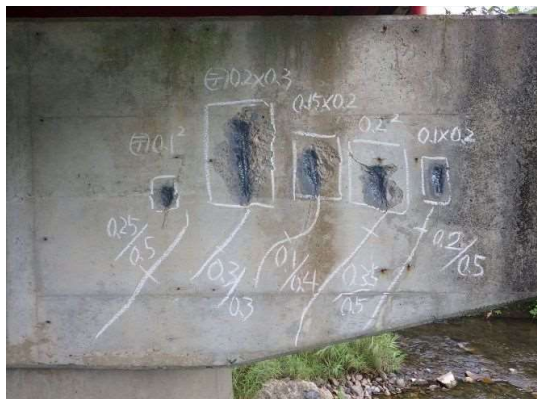
写真番号	32
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号30の近景



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	33
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号30の防錆処理後



写真番号	34
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ 遊離石灰
コメント※必記	張出し端部の遊離石灰を伴うひびわれ (w=1.2mm L=2.3m以下)



写真番号	35
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号34の近景 (w=1.2mm)



写真番号	36
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	A2面、ひびわれ、漏水、 遊離石灰、コンクリートのうきあり



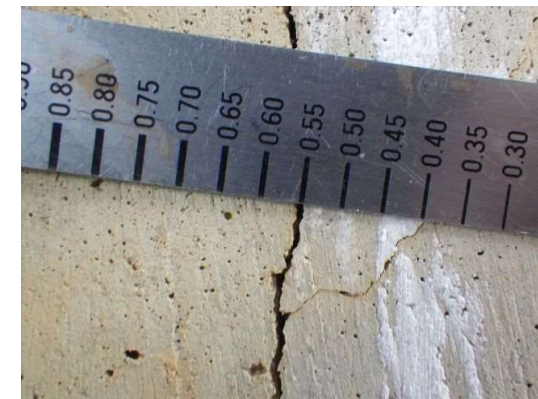
※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	37
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ うき
コメント※必記	A2面張出し部の漏水箇所に点在するひびわれ・うき (w=0.55mm L=0.4m以下)



写真番号	38
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号37の近景 (w=0.55mm)



写真番号	39
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	うき
コメント※必記	A2面、橋座上面(支承前面)にコンクリートのうきあり (0.7m×0.4m)



写真番号	40
部材名	P1橋脚
部材番号	0102
損傷種類	ひびわれ 遊離石灰
コメント※必記	[新規損傷]張出し端部に遊離石灰を伴うひびわれ (w=0.1mm L=0.3m)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	41
部材名	支承本体
部材番号	0101
損傷種類	腐食
コメント※必記	A1橋台側



写真番号	42
部材名	支承本体
部材番号	0202
損傷種類	腐食
コメント※必記	P1橋脚側



写真番号	43
部材名	高欄
部材番号	0201
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	広範囲に防食機能劣化(発錆)が点在



写真番号	44
部材名	高欄
部材番号	0201
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	写真番号43の近景 支柱基部の防食機能劣化(発錆)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	45
部材名	高欄
部材番号	0101
損傷種類	腐食 破断
コメント※必記	[進行あり]点在する防食機能劣化(発錆)と局所的な腐食(孔食)による破断あり



写真番号	46
部材名	高欄
部材番号	0101
損傷種類	腐食 破断
コメント※必記	写真番号45の近景局所的な腐食(孔食)による破断あり



写真番号	47
部材名	高欄
部材番号	0101
損傷種類	変形
コメント※必記	下流側に部分的な変形(傾き)あり



写真番号	48
部材名	地覆
部材番号	0201
損傷種類	
コメント※必記	大きな変状は見られない



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	49
部材名	伸縮装置
部材番号	0101
損傷種類	土砂詰り 漏水
コメント※必記	A1側、シール材に土砂 詰りと漏水あり



写真番号	50
部材名	伸縮装置
部材番号	0101
損傷種類	シール材 なし
コメント※必記	A1側、地覆部のシール 材なし



写真番号	51
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	段差、漏 水
コメント※必記	P1側、段差(約15mm)と漏 水あり



写真番号	52
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	段差
コメント※必記	写真番号51の近景 段差(約15mm)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハシ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	53
部材名	伸縮装置
部材番号	010 2
損傷種類	段差
コメント※必記	P1側、伸縮装置下面(主桁)の段差(約10mm)



写真番号	54
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	段差
コメント※必記	写真番号53の近景 段差(約10mm)



写真番号	55
部材名	伸縮装置
部材番号	0201
損傷種類	段差
コメント※必記	P1橋脚上部、高欄の段差(約15mm)あり



写真番号	56
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	遊間異常
コメント※必記	P1橋脚上で主桁と主桁の接触あり(主桁に損傷なし)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハツ	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	57
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	漏水,防食 機能劣化
コメント※必記	P1側、伸縮装置下面の 漏水あとと防食機能劣化 (発錆)



写真番号	58
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	漏水,防食 機能劣化
コメント※必記	P1側、伸縮装置下面の 漏水あとと防食機能劣化 (発錆)



写真番号	59
部材名	路面
部材番号	0101
損傷種類	摩耗
コメント※必記	大きな変状は見られない が、コンクリート舗装に摩 耗あり



写真番号	60
部材名	排水柵
部材番号	0102
損傷種類	腐食
コメント※必記	[新規損傷] 排水柵の格子に腐食あり



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁番号	Q76-AB-912393	フリガナ 橋梁名	トリハツ 鳥井橋	径間番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
------	---------------	-------------	-------------	------	---	-----	--------	-----	-----	------	------

写真番号	61
部材名	排水管
部材番号	0102
損傷種類	腐食
コメント※必記	先端部に腐食(孔食)あり



写真番号	62
部材名	排水管
部材番号	0203
損傷種類	腐食、欠損
コメント※必記	[新規損傷] 先端部に腐食(孔食)あり



写真番号	63
部材名	親柱
部材番号	
損傷種類	変形・欠損
コメント※必記	親柱にグラつきあり (前回点検時に地元から補修の依頼あり)



写真番号	64
部材名	橋名板
部材番号	
損傷種類	
コメント※必記	「鳥井橋」



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

点検日: 2025/07/29

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ 橋梁名	トリハシ 鳥井橋	径間 番号	1	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
----------	-------------------	-------------	-------------	----------	---	-----	--------	-----	-----	------	------

写真番号	65		写真番号	
部材名	橋名板		部材名	
部材番号			部材番号	
損傷種類			損傷種類	
コメント※必記 「津和野川」			コメント※必記	

写真番号			写真番号	
部材名			部材名	
部材番号			部材番号	
損傷種類			損傷種類	
コメント※必記			コメント※必記	

※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	66
部材名	床版
部材番号	0201
損傷種類	
コメント※必記 状況	



写真番号	67
部材名	床版
部材番号	0202
損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出
コメント※必記	漏水を伴うひびわれと鉄筋露出(w=0.35mm以下) (0.2m × 0.5m以下)



写真番号	68
部材名	床版
部材番号	0202
損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出
コメント※必記	写真番号67の近景 部分的な鉄筋露出(腐食)



写真番号	69
部材名	床版
部材番号	0202
損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出
コメント※必記	写真番号67の防錆処理後



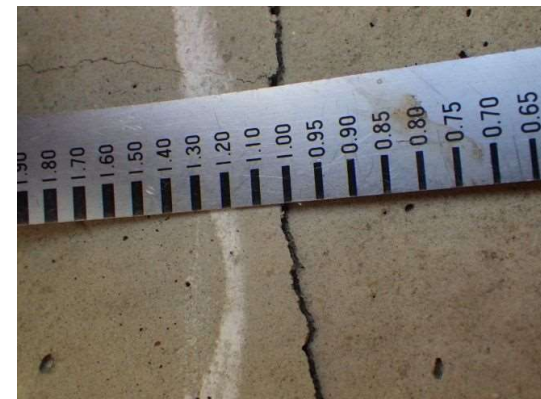
※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	70
部材名	床版
部材番号	0203
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	多数点在する橋軸直角方向を主とするひびわれ (w=1.0mm以下)



写真番号	71
部材名	床版
部材番号	0203
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	写真番号70の近景 (w=1.0mm)



写真番号	72
部材名	床版
部材番号	0204
損傷種類	ひびわれ
コメント※必記	多数点在する橋軸直角方向ひびわれ (w=0.35mm以下)



写真番号	73
部材名	床版
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出 ひびわれ
コメント※必記	張出し部に点在する鉄筋露出(腐食)、ひびわれ(0.2m × 1.1m)(w=0.25mm L=0.6m)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁番号	Q76-AB-912393	フリガナ 橋梁名	トリハツ 鳥井橋	径間番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
------	---------------	-------------	-------------	------	---	-----	--------	-----	-----	------	------

写真番号	74
部材名	床版
部材番号	0101
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号73の近景防錆処理済



写真番号	75
部材名	床版
部材番号	0202
損傷種類	ひびわれ 鉄筋露出
コメント※必記	点在するひびわれと鉄筋露出(w=0.25mm以下)(0.9m × 0.2m)



写真番号	76
部材名	床版
部材番号	0202
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号75の近景防錆処理済



写真番号	77
部材名	床版
部材番号	0201
損傷種類	ひびわれ 漏水
コメント※必記	漏水を伴う橋軸直角方向ひびわれ(w=0.35mm)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハツ	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	78
部材名	床版
部材番号	0204
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	[新規損傷] 床版に鉄筋露出あり (0.3m×0.2m)



写真番号	79
部材名	床版
部材番号	0204
損傷種類	鉄筋露出
コメント※必記	写真番号78の防錆処理後



写真番号	80
部材名	主桁
部材番号	0202
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	下フランジ付近で顕著化する防食機能劣化(発錆)



写真番号	81
部材名	主桁
部材番号	0202
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	下フランジ付近で顕著化する防食機能劣化(発錆)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	82
部材名	主桁
部材番号	0201
損傷種類	腐食
コメント※必記 桁端部、下フランジ付近の部分的な腐食(減肉)	



写真番号	83
部材名	主桁
部材番号	0201
損傷種類	腐食
コメント※必記 写真番号82の腐食(減肉)部、主桁下フランジ厚さ計測(減肉部=6.9mm)	



写真番号	84
部材名	主桁
部材番号	0201
損傷種類	腐食
コメント※必記 写真番号82の健全部:主桁下フランジの厚さ(健全部=15.4mm)	



写真番号	85
部材名	主桁
部材番号	0203
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記 添接部の広範囲で防食機能劣化(発錆)あり	



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	86
部材名	主桁
部材番号	0203
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	写真番号85の近景 F11Tボルト使用



写真番号	87
部材名	横桁
部材番号	0101
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	広範囲に点在する軽微な 防食機能劣化(発錆)



写真番号	88
部材名	対傾構
部材番号	0104
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	広範囲に点在する軽微な 防食機能劣化(発錆)



写真番号	89
部材名	対傾構
部材番号	0104
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	写真番号88の近景 下フランジ付近で顕著化 する防食機能劣化(発錆)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリハツ	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	90
部材名	A2橋台
部材番号	0102
損傷種類	
コメント※必記 状況	



写真番号	91
部材名	A2橋台
部材番号	0102
損傷種類	コールド ジョイント
コメント※必記	胸壁の漏水箇所に見ら れるコールドジョイント



写真番号	92
部材名	支承本体
部材番号	0201
損傷種類	腐食
コメント※必記	P1橋脚側、広範囲に著し い腐食(減肉)あり



写真番号	93
部材名	支承本体
部材番号	0201
損傷種類	腐食
コメント※必記	P1橋脚側、広範囲に著し い腐食(減肉)あり



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	94
部材名	支承本体
部材番号	0101
損傷種類	ナット緩み
コメント※必記	P1橋脚側、ナットの緩み(うき)あり



写真番号	95
部材名	支承本体
部材番号	0202
損傷種類	腐食
コメント※必記	A2橋台側



写真番号	96
部材名	支承本体
部材番号	0102
損傷種類	腐食
コメント※必記	A2橋台側



写真番号	97
部材名	高欄
部材番号	0201
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	広範囲に防食機能劣化(発錆)が点在



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアン	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	98
部材名	高欄
部材番号	0201
損傷種類	防食機能の劣化
コメント※必記	写真番号97の近景 支柱基部の防食機能劣化(発錆)



写真番号	99
部材名	高欄
部材番号	0101
損傷種類	腐食
コメント※必記	点在する防食機能劣化(発錆)と局所的な腐食(孔食)



写真番号	100
部材名	高欄
部材番号	0101
損傷種類	腐食
コメント※必記	写真番号99の近景 局所的な腐食(孔食)



写真番号	101
部材名	地覆
部材番号	0101
損傷種類	
コメント※必記	大きな変状は見られない



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	102
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	シール材劣化、漏水
コメント※必記	A2側、シール材劣化と漏水あり



写真番号	103
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	シール材劣化、土砂詰り
コメント※必記	写真番号102の近景 シール材の劣化、遊間部に土砂詰りあり



写真番号	104
部材名	伸縮装置
部材番号	0102
損傷種類	シール材なし
コメント※必記	A2側、地覆部のシール材なし



写真番号	105
部材名	路面
部材番号	0101
損傷種類	摩耗
コメント※必記	大きな変状は見られないが、コンクリート舗装に摩耗あり



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	径間 番号	2	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋								

写真番号	106
部材名	排水柵
部材番号	0203
損傷種類	
コメント※必記	大きな変状は見られない



写真番号	107
部材名	排水管
部材番号	0203
損傷種類	腐食
コメント※必記	先端部に腐食(孔食)あり



写真番号	108
部材名	橋名板
部材番号	
損傷種類	
コメント※必記	「とりいはし」



写真番号	109
部材名	橋名板
部材番号	
損傷種類	
コメント※必記	「昭和四八年三月竣功」



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

# 損傷評価のまとめ

点検日: 2025/07/29

橋梁 番号	Q76-AB- 912393	フリガナ	トリアツ	所在地	津和野町高峰	路線名	田平線	事務所名	津和野町
		橋梁名	鳥井橋						

対象部材		径間番号				総合
		1	2			
床版	判定区分	I	II			II
	変状の種類		ひびわれ、鉄筋露出			
主桁	判定区分	II	III			III
	変状の種類	腐食	腐食			
横桁	判定区分	II	II			II
	変状の種類	防食機能の劣化	防食機能の劣化			
橋台・橋脚	判定区分	II	II			II
	変状の種類	ひびわれ、漏水、鉄筋露出、うき	漏水			
支承	判定区分	II	III			III
	変状の種類	腐食	腐食			
排水施設	判定区分	II	II			II
	変状の種類	腐食	腐食			
伸縮装置	判定区分	II	II			II
	変状の種類	漏水、遊間異常、段差	漏水			
高欄・地覆	判定区分	II	I			II
	変状の種類	破断				
路面	判定区分	I	I			I
	変状の種類					